



開ける日か来るかもしれない

① ビルを避けたくて自然と裏路地に入る。



植木鉢がある。植木鉢があればあるほど生活にゆとりを感じる。安心感。ある植木鉢の木が、鉄扉を開け押し開けようとしていた。日影だからここが室内だと勘違いしているのかもしれない。その向こうはきつと室外機とゴミ捨て場しかない。それでも木はまだ扉から出ることを諦めていないはず。誰かが扉を開けた時、この木は光を求めてちょっとだけいつもより早く伸びるのかもしれない。

多摩美術大学 2年 木村 高成

② VINYL→初めて東京駅にきた高校生のときから好きなショップ。モダンギャラリーのホワイトキューブみたいな洗練された空間に、カラフルで毒つけのあるアイテムが並んでいるの好き。が現代アートの展示空間っぽくて一点モノの作品はもちろん、量産のグッズもウォールホルの作品みたいに同じモノがたくさん並んでいる面白さと不思議さがある魅力的だと思う。せっかくの取材なので初めて店員さんに話しかけてみた。(すごく緊張した笑) 作家との企画は、店頭で働く店員さんも一緒になって考えることもあるのだそう。作家とショップのスタッフが一緒にオリジナルグッズを考えることもあるらしい。作家を呼んで展示、販売するだけでなく提案して一緒に作っていくのがいいなと思った。ショップのことがもっと好きになったので思いきって聞いてみてよかった!

VINYL ものどアート

③ ものどアート→日本の作家をメインに取り上げたショップのよう。予備校の懂れていた先輩の作品がまたま置いてあってドキドキした! ガラスのアクセを作っている作家さんが音楽系から転向した面白い経歴を持っている人で、色々できる人はすごいなと思った。作品のタイトルがクラシックの曲名なのがハイセンス。アクセ、食器、手帳や文房具など、実際に日常の中で使えるアイテムが多くてアートに深く関わったことのない人でも気軽に作品を手もとに置けるし、それをきっかけにアートのことを好きになってくれたらいいなと思った。

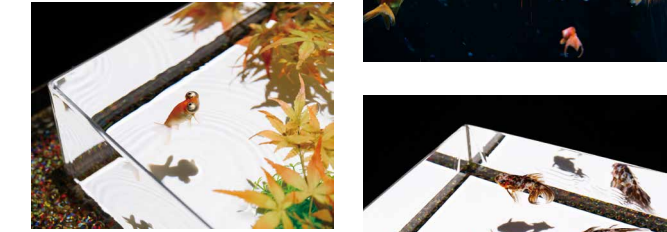
武蔵野美術大学 学部2年 川崎 風香



左上: アカショウビン
左下: ノウサザ
右: オオホシセイインコ
東京大学総合研究博物館

アートアクアリウム美術館

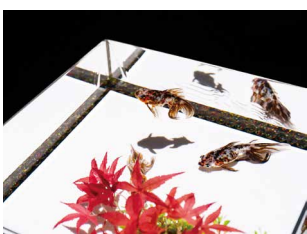
④ ねえ、写真を撮るのが好きなら、銀座のアートアクアリウム美術館がおすすめです。ここは金魚の展示だけでなく、周りのインスタレーションアート空間も面白いし、カラフルでユニークな形の伝統的な金魚とか、新種の金魚とか、視覚の饗宴を感じ。光、影、金魚のしなやかな美しさをいろんな角度から写真に撮れるよ!ここは完璧な美術館!



武蔵野美術大学 映像・写真コース
修士2年 陳 夢敏

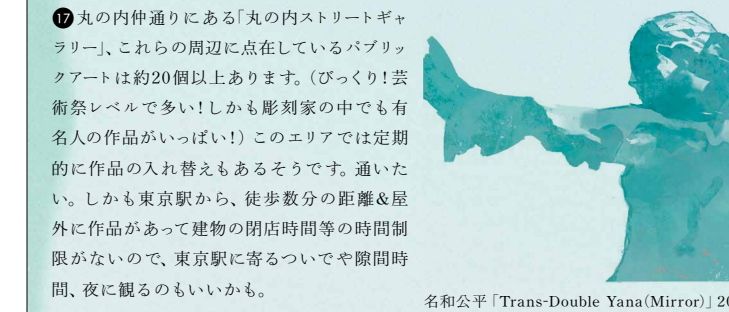
インターメディアテク

⑤ 東京駅近くのインターメディアテクにぜひ行ってみて。珍しい標本とかユニークな研究成果もいっぱいあるし、歴史と学術的な雰囲気も素敵だよ。古代の化石から繊細な生物標本まで、どの展示品も物語がいっぱい。ここは照明もすごいよくて、繊細な質感をユニークなアングルで捉えることができて、特に大きな標本は見た目にもインパクトがあるから迫力ある写真が撮れるよ!

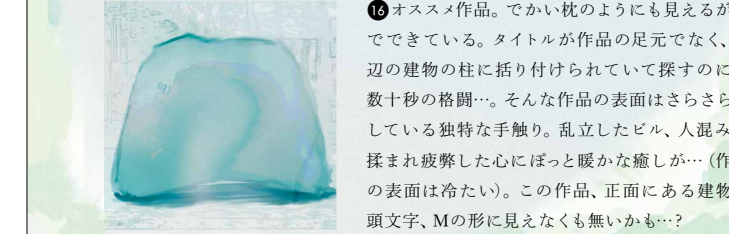


短時間で楽しめる アートスポット

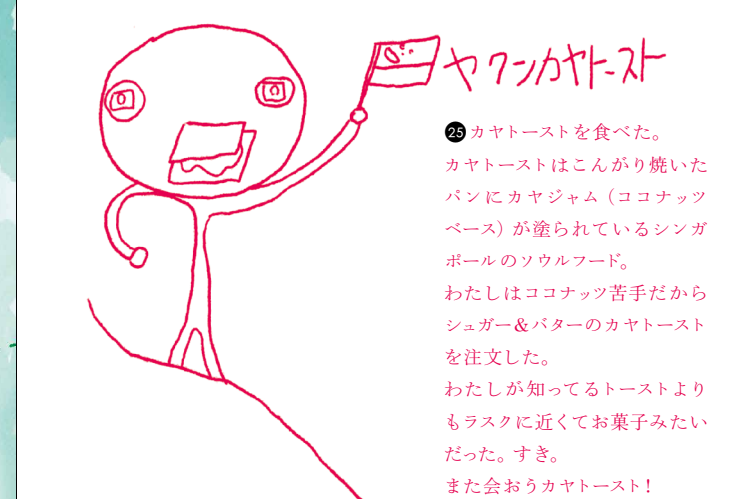
自分の趣味は、時間が許す限り美術館or美術スポットをはしごすること…。東京に来て、せっかくなら短時間かつ一箇所で大量の作品を観たい…(休憩スポットもあったら尚嬉しい)。そんな最中、全ての悩みを解決してくれた「丸の内ストリートギャラリー」に出逢えたので、ピックアップして書いてみます。



⑥ はしごして疲れたら「丸の内ブリックスクエア 一号館広場」で一息。大都会の東京でゆったり自然を堪能できるスポットがあることに感動しました。近未来的な洋風の自然スポットです。近づいても(約20cmくらいの距離感でも)全く逃げない鳥達が数羽いて息抜きに鳥観察などもオススメ。

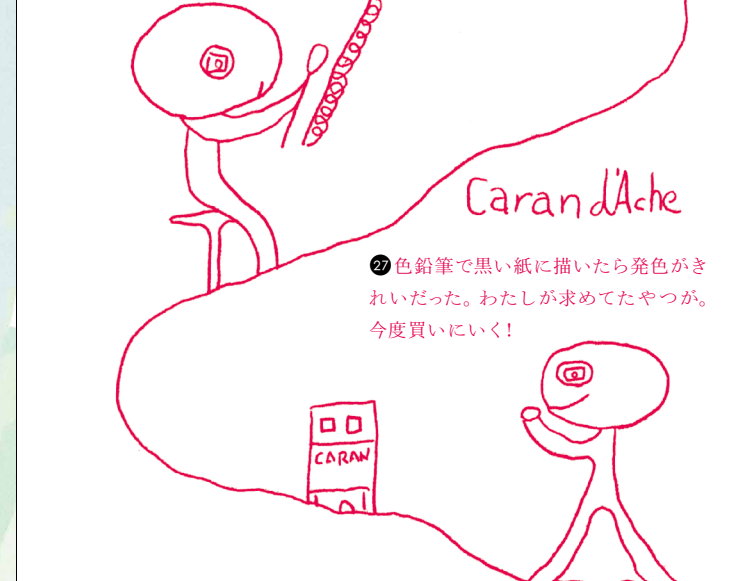


⑦ オススメ作品。でかい枕のようにも見えるが石でできている。タイトルが作品の足元でなく、近辺の建物の柱に掛け付けられていて探すのに約数十秒の格闘…。そんな作品の表面はさらさらとしている独特な手触り。乱立したビル、人混みに揉まれ疲弊した心にぽっと暖かみを感じが…(作品の表面は冷たい)。この作品、正面にある建物の頭文字、Mの形に見えなくも無いかも…?
安田 健(やすだ けん)「天空」2006



月光荘画材店

⑧ スケッチブックとパレット買った! 水彩で描いても紙が縮まない、デクスターのクセがなくて最高である。ほかのも買わなくちゃ!



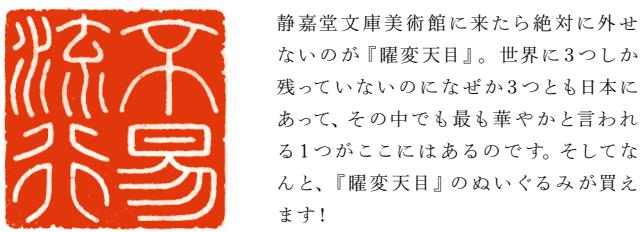
東京芸術大学 修士1年 川上 真紀子

古色蒼然



【静嘉静嘉】^①

② 静嘉堂は東洋の古美術品を中心に収蔵している美術館です。東京駅から歩いてすぐ、建物自体も重要文化財で国宝なんかも見られちゃう、そんなスポットです。「静嘉堂」の名前は中国の古典『詩経』の大雅、既醉編の「静嘉(へんとうせいか)」という句が由来なんだとか…



【不易流行】^②

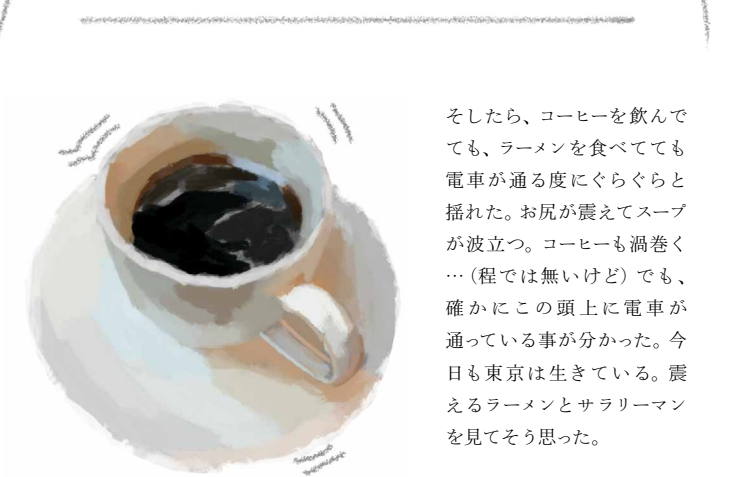
※1,2 とともに浦山悠の作品で静嘉堂文庫美術館の収蔵作品と関係ございません。

武蔵野美術大学大学院 修士2年 浦山 悠

③ 都内を繋ぐ電車の下に、ひっそりとご飯屋さんが並んでいる。色んなお店があるけれど、どこもお客さんはスーツの人ばかり。



そんな人達に紛れて、私も幾つかの店に入ってみた。



多摩美術大学 1年 福田 周

mokuhon

11月26日(火) 晴れ、少し寒い

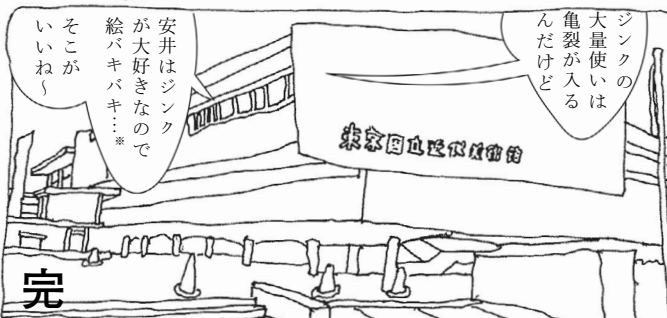
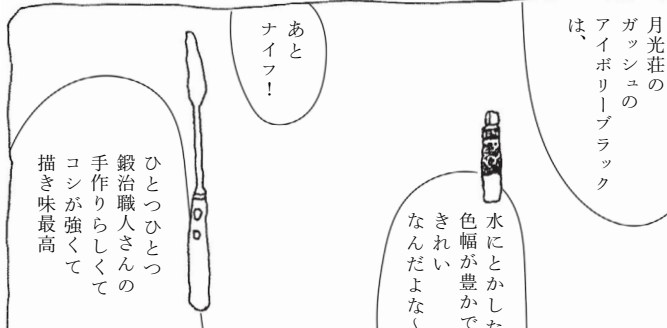
銀座の(下は)や(上)通り(は、いかに)も東京(とい)つ(て)感じ(が)する。路地裏(の)古め(かい)い(お)店(や)誰(かの)ア(パ)ート(が)が(す)る。



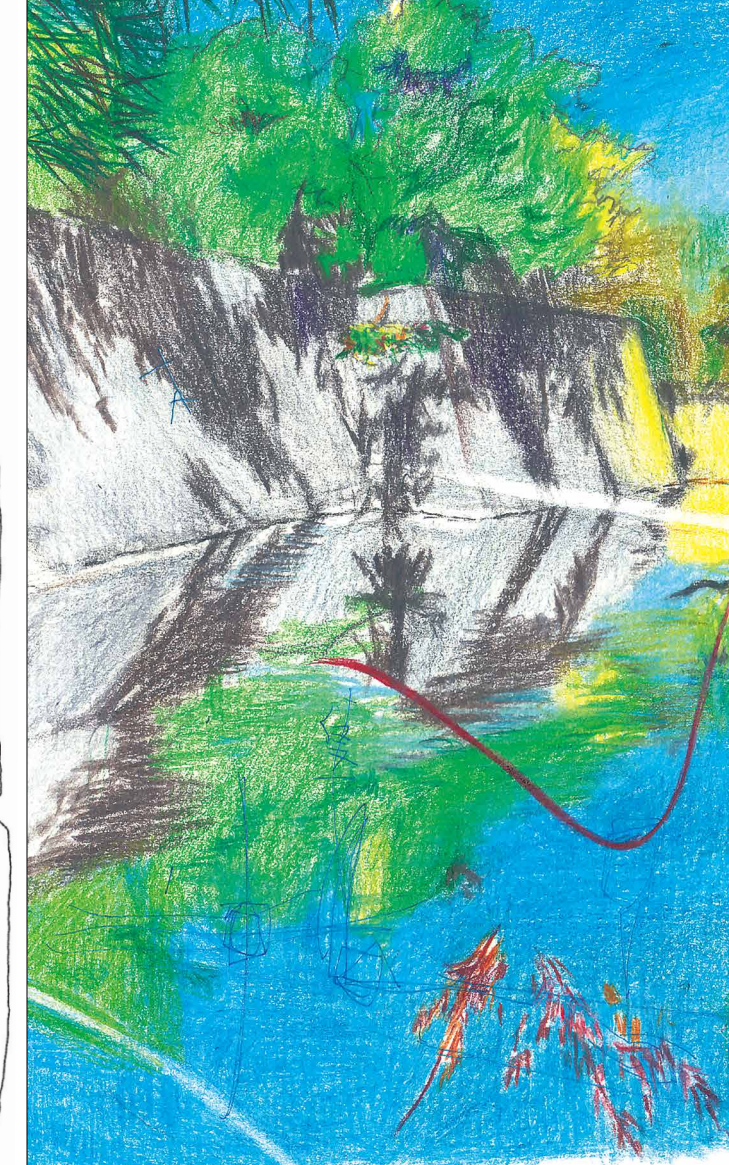
不思議な感じ(で)印象(に残)った。植物(が)水(を)吸(って)成長(する)ように、私(たち)の生活(の)周期(も)穏(やか)な(も)のであ(ら)う(良)い(よ)と思(う)。

武蔵野美術大学 2年 平塚 舞葉

月光荘と安井の話



武蔵野美術大学 修士1年 三浦 雅



皇居外苑

⑤ 風も木も鳥も人も、お互い影響されて揺れ進みまた戻っていく。ここは大きくて、小さい私達の意識は拡散されていてマイペースになれる。動く人の中に眠るカモが見えた。一人で寝ている。からっと晴れた空に紅葉の赤がよく映える。走るランナーを見て、横目に見える景色さえも綺麗なのかと思って私も走った。

スズメがいてうれしい 和田倉噴水公園

⑥ 東京駅近辺は人間ばかりでもふもふな癒しが欲しいよ～(; ;) そんな人にこの公園はぴったりだと思う。なんてったって可愛いスズメがいる。

私がリサーチした11月末はスズメの羽がもふもふだった。東京のスズメだから人馴れていて近くでスズメを見ることができすぎうれしかった。



ベンチがたくさん 皇居外苑

⑦ なぜかたんぼぼが咲いていて綿毛もあった。(11月) ベンチがめっちゃたくさんあるけど私が行った昼間は全然誰も座ってなかったから人がいないところで座って休憩したい人におすすめしたい。シロツメクサだと思って四葉のクローバーを探したけどシロツメクサに似てるカタバミだったし四葉はなかったです(; ;)



東京芸術大学 修士1年 田中 さくら